回覧・掲示用

えどがわボランティアセンターだより

出会い ふれ合い 助け合い

29年12月発行
第29号

【発行】公益財団法人えどがわボランティアセンター
〒132-0031　江戸川区松島 1-38-1
電話：03-5662-7671　FAX：03-3653-0740
E-mail：edo-vc@city.edogawa.tokyo.jp

子どもたちの健やかな成長を支えるボランティア

～冒険遊び場（プレーパーク）に参加しませんか？～

区内の冒険遊び場

子どもたちが、木に登ったり、棒を振り回したら危ない！と止めてませんか？

その遊びは危ないからやめようね、と止めるのではなく、子どもの目線になって見守り、子ども自身が「やってみたい」ことができる、そんな場所が「冒険遊び場」です。

ここに来るのは、保護者と一緒の幼児から学校帰りの子どもたちまで年齢はさまざま。スコップや木づちを使ったり、泥んこで何かを作ったり自分のペースで遊んでいます。

ハンモックで遊んでます

人間キャタピラー

あったかいなー

大切にしていること

子どもにとっての遊びは、生きることそのものです。好奇心旺盛な子どもにとって、公園にはわくわくしたことがあふれています。子どもの自由な発想を尊重し、傍らで見守ることを大切にしています。その中で子どもたちは生きる力をつけていきます。

たくさんの親子が訪れ、地域の輪も広がることが防犯にもつながります。また、孤独になりがちな子育て世代が外出するきっかけづくりにもつながります。

トンカチ使えるよ

外で本も読めるよ

一緒に子どもたちの成長を見守りませんか？

夕方、冒険遊び場で焚く火を見て遊び場から巣立った子どもたちが学校帰りに立ち寄る、そんな場所にもなっています。

現在、見守り、設営、準備をしてくださるボランティアさんを募集しています。

学校でも家でもない、子どもがその子らしく過ごせる場所を一緒に支えていきませんか？

公園の様子

焼けたかな？

＊火の使用については消防署に許可を得ています。

冒険遊び場を開催している団体

団体名	開催場所　時間	主な活動内容
江戸川遊ぼう会 HP http://blog.livedoor.jp/kitikitidaikiti/ E メール e-asoboukai@excite.co.jp	新田の森公園（西葛西 8-6） 毎週金曜日　午後 3 時～日没まで 第 2 土曜日　午後 2 時～日没まで	子どもを主体とした外遊びを応援する冒険遊び場の運営
こまつなエコキッズ Facebook https://www.facebook.com/hirakomaharappa E メール hirakoma.harappa@gmail.com	平井東児童遊園（平井 4-27-7） 原則として毎月第 4 日曜日 午前 11 時～午後 5 時	ゆるやかな見守りの中、のびのび遊びのお手伝いをする冒険遊び場活動
ゆきやなぎプレーパーク小松川の会 Facebook http://www.facebook.com/yukiyanagi.play.park	小松川ゆきやなぎ公園（小松川 2-8-11） 毎週水曜日午後 2 時～ 5 時 （開催の有無は Facebook で確認してください）	子どもの自由な遊びを見守っていく外遊びの活動

瑞江葬儀所の所内研修で「出前！ボランティア体験」（車いす、ガイドヘルプ体験）

10月31日（火）、瑞江葬儀所の顧客満足度向上を目的とした研修プログラムの一部に「出前！ボランティア体験」をご活用いただき、車いす介助やガイドヘルプ体験などに、福祉ボランティアの皆さんが協力しました。研修では、視覚障がい者が日々の生活の中で使用している様々なグッズの紹介や車いすの乗り降り、階段の昇り降りの方法、視覚障がい者と寄り添いガイドする方法などを紹介しました。体験中、職員の皆様からは、多くの質問が寄せられるなど積極的に取り組んでいただき、「自分で体験できたことが貴重な経験になった」「これからは、障がいのある方に積極的に声をかけられそうです。」等々の感想を頂きました。

この体験を通して、職員の皆様が障がいへの理解を深め、少しでもおもてなしスキルの向上につなげて頂ければ幸いです。瑞江葬儀所の皆様、ありがとうございました。

車いす操作方法の説明を受ける様子

車いす利用者を階段から降ろす様子

ガイドヘルプ体験の様子

「出前！ボランティア体験」とは

講師役の福祉ボランティアと障がい者とがチームを組んで小中学校や高校、ＰＴＡ、地域の諸団体に出向きます。障がいのあるメンバーの講話に加え、下表の体験を通して障がいのある方々への理解を深め、誰もが住みやすい地域社会について考えていただくものです。

例えば、このような体験ができます

車いす体験	車いすの乗り降りや階段の昇り降りを通して、バリアフリーや誰もが住みやすい地域社会について考えます。
ガイドヘルプ体験	アイマスクをして、足場の悪い場所を歩いたり、点字ブロックの上を白杖を用いて歩きます。この体験を通して、視覚障がい者の日常やバリアフリーについて考えます。
点字体験	実際に点字を打つ体験を通して、視覚障がい者の日常について考えるとともに視覚障がい者を理解する一助とします。
手話体験	手話で自己紹介や簡単な挨拶を行う体験を通して、聴覚障がいについて考えます。

是非、当事業を事業所の研修や学校の授業などでご活用ください。
お申し込みはボランティアセンターまで　TEL：03-5662-7671

区民まつりに来てくれてありがとう

10 月 8 日の日曜日、第 40 回目の江戸川区民まつりが行われました。天候にも恵まれ、大勢の方に手話と点字の体験をして頂くことができました。バルーンアートコーナーも、ボランティアさんが風船を作っても作っても追いつかないほど大盛況でした。当ブースにお越しくださいました皆様、ご協力いただいたボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

手話体験

点字体験

バルーンアート体験

ボランティア募集情報

募集情報の掲載を希望される施設・団体の方は、ボランティアセンターまでお問い合わせください。
TEL:03-5662-7671　FAX:03-3653-0740

えどがわあったか子ども食堂

内容…地域の子どもたちを一緒に見守り育ててください。子ども食堂の料理の配膳や盛り付け、会場の準備や後片付けなどをお願いします。
場所…ほっとマンマ（ほっと館）（江戸川区中央 2-4-18）
日時…毎月第三日曜日　12:00～14:00
問合せ先…生活クラブ運動グループ江戸川地域協議会
TEL 03-3652-7212
メール…edogawaattaka@gmail.com
ホームページ…http://edogawa-attaka.jimdo.com

e-りびんぐ（子どもの居場所・学習支援）

内容…事務作業や買い物など居場所運営、小中学生の自習の見守り、学習会運営や勉強のサポート、季節のイベントなどの企画・運営など
場所…上一色コミュニティセンター　1F
（江戸川区上一色 2-6-10）
活動日時…月、水、金　15:00～21:00（3時間～OK）
土日祝日、春夏冬休み 10:00～21:00（3時間～OK）
問合せ先…NPO法人キッズドア　03-5879-4066
メール…el@kidsdoor.net
担当…土井（どい）、合田（ごうだ）

パオパオくらぶ

（小・中・高校生の障がいを持った子どもたちが、放課後に遊びに来る学童クラブのようなところです）

内容…近くの公園に行ったり、バスや電車でお出かけをしたり、また、雨の日は屋内でクッキングをしたりします。子どもと一緒に遊んでくれる方を募集します。
時間…月～金　13:30～18:30
場所…船堀1丁目団地2号棟1階　江戸川区船堀1-1
問合せ先…NPO法人ぱお　TEL 03-3689-4642
メール…pao2_club@yahoo.co.jp
ホームページ…http://www.npo-pao.org/

ボランティアセンターだよりの配付

内容…2か月に１回発行のボランティアセンターだよりをボランティアセンターから、町会の担当の方に手渡しして頂く活動です。
時間…特に決まりはありません。
場所…募集エリア（小松川 1、2、3、4 丁目・江戸川 5 丁目、西瑞江 4、5 丁目、東小岩 5、6 丁目など）
問合せ先…（公財）えどがわボランティアセンター
TEL　03-5662-7671　FAX　03-3653-0740
＊発行日は、奇数月の第4火曜日です。
お気軽にお問い合わせください。

パソコンを使ったボランティア活動 えどベリスの会会員募集

学習障害をもつ児童生徒、文字を読むことが困難な障がい者や高齢者のためのボランティア活動です。パソコンを使って、通常の図書の文字や画像に音声を加え、音声に合わせ文字・画像がハイライト表示される教科書や図書（マルチメディアデイジー形式）を作ります。活動は、自宅での作業と定例会への出席です。
定例会：毎月第2木曜日（10:00～17:30）
毎月第1・3火曜日（15:30～19:00）
場所：西葛西図書館他

会主催の講習会の様子

※活動時間・年会費他、詳細はメールでお問合せください。
連絡先：杉中　sugisumi.sansan3131@gmail.com

「**デイジー録音図書製作講座**」を平成 30 年 3 月 6・7 日に開催します。視覚障がい者の読書環境向上のため、録音された音声データをパソコンで編集して CD を製作する、ボランティア養成講習会です。詳細は、ボランティアセンターホームページや 2 月 1 日号の広報えどがわでお知らせします。

ありがとう　9月・10月分

寄　付（2件）	つくしグループ様		113,350円
	匿　　名		5,000円
使用済み切手	受領55件	26.8kg	
	換金(4～9月)	31.6kg	22,120円

ボランティアの振興に有効に使わせて頂きます。

＊本紙は、配布ボランティアのみなさんによって届けられています。

ボランティア団体登録数

登録団体数：203団体　　登録人数：6,274人
（平成29年10月現在）

ボランティア通信「やまびこ」コーナー

※江戸川区福祉ボランティア団体協議会の情報コーナーです。

日々の暮らしの中にも“ボランティア”

秦野工場で説明を受ける会員の様子

私たちは、江戸川区で回収された古着、古布や容器包装プラスチックが、どのようにリサイクルされているかを知るため、10月3日（火）、神奈川県秦野市の「ナカノ株式会社秦野工場」と江戸川環境保全事業協同組合が運営する「エコセンター」を訪ねました。

「秦野工場」では、各地から集められた古着・古布を人の手で細かく分類して、再利用できるものは主に東南アジアへ輸出し、できないものはウエス（工業用雑巾）や手袋に生まれ変わっていました。

また、「エコセンター」では、回収された容器包装プラスチックに異物が混入していないかを手作業で点検、分別し、その後圧縮して1m角の塊（ベール）にするまでの作業を見学しました。このベールはリサイクル工場に引き渡され、物流用パレットや再生樹脂、疑木などの様々な製品に再商品化されるとのことです。

この見学会を通じて、リサイクルの大切さとともに、リサイクルは誰にでも取り組める“ボランティア”の一つだと感じました。皆さんも年末の大掃除をきっかけに、身近な“ボランティア”を始めてみませんか。

友好都市　鶴岡市のボランティアの皆さんと交流

当会では、友好都市　鶴岡市のボランティアの皆さんと隔年で交互に訪問して交流を深めています。今年は10月27日（金）～28日（土）の日程で鶴岡市を訪問しました。滞在中は、鶴岡市の皆さんと日頃のボランティア活動について意見交換する機会をいただきました。ボランティアの環境は大きく違っても、ボランティアの「心は一緒だ」ということに改めて気づき、これからの活動への大きな励みになりました。

また、懇親会では、500年以上にわたり黒川の人々によって守り伝えられ、国の重要無形民俗文化財である「黒川能」についてご説明いただいたほか、櫛引地区で活動するボランティアの皆さんとの交流など、大変楽しく、有意義なひと時を過ごすことができました。鶴岡の皆さん、本当にありがとうございました。

交流会の様子

やまびこ伝言板

第三回　避難者と支援者による“ふれあいフェスティバル”参加報告

10月1日（日）、都立篠崎公園で行われた東日本大震災の広域避難者と支援者の交流を目的にした“ふれあいフェスティバル”に参加しました。私達が江戸川区に避難されている方々との交流の場として、区からお借りしている農園で採れたじゃがいもを使い、「じゃがマヨ、煮ころがし」を作り来場者の皆さんに振る舞いました。当日は好天に恵まれ、我々と一緒に畑を耕した避難者の方をはじめ、多くの方にお越しいただきました。